

レガッタ開催指針、変更方式、レガッタスケジューリング、クオリファイ

日本レーザークラス協会

1、レガッタ開催指針（2004.10.イベント開催指針として発表、2005.10.改訂）

この開催指針は日本レーザークラス協会がスケジュール調整を行うレガッタ(下表)の開催時期、対象リグ、リグ別スタートの可否等について取り決めるものです。

インターフリートレガッタ（東京湾選手権、めんたいカップ、じあいカップなど）以下のレガッタは開催指針の対象としません。

全日本選手権大会（Grade=National）

	開催時期	対象リグ	スタート	リグ変更方式
全日本選手権	7～12月	S		×
全日本ラジアル	7～12月	R		×
全日本レディース	7～12月	R		×
全日本マスターズ	夏	S, R, 4.7	リグ別スタート可	×

シーズンレガッタ（Grade = Season）

ミッドウインター	冬	S, R, 4.7	リグ別スタート可	×
ラジアルスプリング	春	R, 4.7	一斉スタート	○
ラジアルミッドサマー	夏	R, 4.7	一斉スタート	○
ラジアルオータム	秋	R, 4.7	一斉スタート	○

地方選手権大会（Grade = Local）

関東選手権		S	一斉スタート	○
関西選手権		S	一斉スタート	○
その他の地方選手権		S, R, 4.7	一斉スタート	○

<表の凡例>

S : レーザー (Standard)

R : レーザーラジアル

4.7 : レーザー4.7

× : 採用してはならない。

○ : 推奨する。(状況によりしなくてもよい)

可 : 推奨する。(状況によりしなくてもよい)

対象リグ : エントリーを受け付けるリグ

一斉スタート : ワンショット・スタート

対象リグおよびリグ別スタートの可否を取り決める理由:

近年レーザーラジアルの普及が進んでラジアルセイラーの数が増えてきました。選手権大会をスタンダードとラジアルの同時開催とした場合、スタンダードとラジアル両方のレース活動をしたいセイラーはどちらか片方を選択しなければならず、活動のチャンスを逃すこととなります。それは同時にスタンダードとラジアルそれぞれの参加艇数が減少してビッグフリートによる充実したレースが出来なくなることにつながります。

こういう事態を防止し、スタンダードとラジアル両方のレース活動を活発にすることを目的として制限を設けるものです。

2、リグ変更方式（一部改訂）

リグ変更方式を採用するかしないかは、レガッタ開催指針で禁止しているレガッタを除き主催者と主管レース委員会が協議して決定し、レースの公示(要綱)およびセイリングインストラクションにその旨を明記し、採用するときはセイリングインストラクションに次の文面を記載しなければならない。

クラスルール27(d)および28(d)に代わり、下記を適用する。

シリーズの途中でスタンダードリグからラジアルリグへまたはラジアルリグから4.7リグへの変更(あるいはその逆)を行う場合は、新たなリグによるスタート前にレース委員長に書面で申請しなければならない。

この場合：

1. セイルナンバー(リコールナンバーを含む)は変更前と同一のものでなければならない。
2. 得点はシリーズの合計得点に下記のペナルティーを加えて順位が与えられる。
ペナルティ点 = 参加艇数 × 1/10 × カウントされるレース数
3. クオリファイの対象からは除外される。

※ シリーズの途中とは1以上のレース結果が出た後を意味する。

※ カウントされるレース数とは成績に影響するレースの数を意味する。

この方式はミッドウインターを除くシーズンレガッタおよび地方選手権以下のレガッタでのみ採用し、全日本選手権4大会およびミッドウインターでは採用しない。

リグ変更方式は、シリーズの途中でスタンダードリグからラジアルリグに変更することを認めることにより、軽量セイラーが強風レースを安全に楽しめるようにという目的で1993年に始めたものです。近年ラジアルリグのセイラーが増加し、ラジアルリグのレースが増えてきたためこの方式は殆ど利用されなくなっていました。2004年からレーザー4.7の普及を図ることになったため、ラジアルの初期と同じ考え方で当分の間この方式を継続することにしました。

【参考】クラスルール日本語版 第4章27. レーザーラジアル

(レーザー4.7は第4章28.で同様)

- (b) レーザーラジアルリグは、クラスルール27(c)の条項、レースの公示および帆走指示書に示された制約にしたがうかぎり、任意のレガッタで使用することができる。
- (c) ディストリクト選手権(日本では全日本選手権)およびそれ以上のレベルのレガッタでは、レースの公示と帆走指示書の両方で使用が認められた場合にのみを使用することができる。
- (d) レーザーラジアルリグを、シリーズレースの途中でレーザーやレーザー4.7リグに変更してはならない。シリーズとは、総合得点にカウントされる2本またはそれ以上のレースをいう。

※ 尚、この条項はセイリングインストラクションによって変更することができる条項である。

3、スケジュールリング（開催場所および開催日の決定）

<手順>

1. レース委員会はレガッタ開催指針にしたがって、関係委員会および開催候補地と情報交換してレガッタスケジュール(開催日)を調整し、役員会の承認を求める。
2. 日本レーザークラス協会会長名で候補地へ開催依頼する。
3. 開催地(主管フリート)は大会の計画を立て、レース公示案をレース委員会へ提出する。
4. レース委員会の検討を経て日本レーザークラス協会がレースの公示を行う。

<スケジュール調整に際して留意すべき事項>

- ① 開催日が他のレガッタと重なったり接近しすぎ事の無いよう充分配慮する。
- ② レーザーのレガッタだけでなく、オリンピックウイーク、ナショナルチーム選考レース、ユースワールド選考レース等々のスケジュールも睨んで調整する。
- ③ 検討段階から開催候補地を担当する地区レース委員会と密接に連絡をとる。
- ④ 世界選手権などの国際大会のクオリファイをかけるレガッタの場合、事前に強化委員会のクオリファイ計画との調整を行なってスケジュールを決定しなければならない。

4、クオリファイについて

- ① 国際大会出場のためのクオリファイは、国際大会の事情に明るい強化委員会が設定する。
- ② クオリファイ計画は、当該国際大会までの時間的余裕をもって、できるだけ早期に発表すること。
- ③ クオリファイのスケジュールにおいてレース委員会と強化委員会は密接な連絡のもとに行うこと。